

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.理念に基づく運営			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくあげている</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で安心して毎日を過ごすことができるようホーム内を普通の家と同じ感覚で絵や花を飾り季節の移り変わりを感じとることができるようにする。また、ご自宅で使っていたなじみのある家具や日用品をそのままここで使って頂くようにしています。地域の中でその人らしく生活することを支えるケアの具体的なイメージで理念を作りあげている</p>	<p>地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、地域支援事業として、地域の方、家族の方たちに気軽にこれるような雰囲気づくりをしていきたい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員とは、ミーティングや 申し送り 職員会議時等、理念に触れ確認し合うようにしている</p>	<p>職員採用時、理念を伝え理解してもらいたい 毎日のサービスのなかで、言葉掛け、態度、記録などにおいて理念が反映できるようにしていきたい</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>夏祭り 敬老会などの催しの時は、地域の皆さん、ご家族の皆さんをご招待し、盛大に行ったり 折に触れて地域密着型としての理念を伝えている</p>	<p>利用者を支えていくためには、家族や地域の人々の協力と理解が必要です。わかりやすく伝えていきたい</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>ボランティア (踊り 三味線、歌)がお見えの時は、一緒に楽しんでいただけるように、招待している。又こちらからも地域の行事に参加していきたい。</p>	<p>隣近所の住民、高齢者の方等茶話会を計画し、少しずつおつきあいを広げていきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>日常的に散歩等の時に近隣の人たちと挨拶を交わしたりお話をしています。</p>	<p>地域の一員として地元の活動に積極的に参加していきたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員会議や、地域密着型サービス運営推進会議でテーマの一つとして話し合いを行っています		地域の一人暮らしの方達との交流の場を持つようしていきたい
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全員に伝え全員で自己評価に取り組むようにしている。外部評価の意義を理解しています		今回、初めての外部評価を受けることになりいろんな面で指導を受け今後の課題として、一つ一つ努力して行きたいと思っています
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、会議メンバーから率直な意見をもらいそれをサービス向上に活かして行きたい		幅広い立場の人が参加していただきたく、積極的に参加していただけるように働きかけて行きたいと思います
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会を作り市町村とともにサービスの質の向上に取り組んで行きたい		例えば、年間行事等市町村担当者にも必ず案内状を出すよう参加をお願いしていきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員への説明は行っている。対応が必要と思われる利用者がいる場合は、随時職員に説明、アドバイスを行いながら利用者の支援にむすびつけている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティングなどを実施し、高齢者虐待防止に関する理解を深めたい		見守りを強化するよう職員に指導していきたい。また、見過ごすことのないよう報告の徹底を図りたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約等を結ぶ場合は、家族に十分な説明を行い、理解、納得をして頂き、契約書、同意書に署名、印鑑を捺印して頂く。</p>	<p>契約書、同意書の理解必要性を説明する上で必ず情報提供書の提出を依頼し説明し契約をして頂いています</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月、1回は職員会議を開催し、業務内容の見直しや、ホーム全体の問題点を話し合うようにしています。利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をしています</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、ご家族が利用料のお支払いに来られるので、その時にホームでの様子をお話しています。また、3か月ごとのケアプランの見直しの時、十分に説明するようにしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情を受けた職員は、直ちに管理者に報告し、その件については改善できるように努力します。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月、1回は職員会議を開催し、業務内容の見直しや、ホーム全体の問題点を話し合うようにしています。職員会議議事録も作成し、後日、職員みんなが見れるようにしています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>そのつど必要に応じて柔軟に職員の配置を考えている。管理者は、状況に応じた対応が出来るように通常のシフトにいないため夜間の対応や利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれている</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、ご家族への信頼関係を築くためにも馴染みの職員が対応することが重要と考えており、移動や離職がやむえない場合もその時期や引継ぎの面で最善の努力をしている基本的には、職員を個定化し、顔馴染みの職員によるケアを心がけている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集にあたっては、性別、年齢は不問としています。勤務にしてもできるだけ、職員の休みの希望を取り入れるようにしています。健康管理の上からも、休み時間はきちんと1時間取れるように配慮しています。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>		<p>現在、当ホームでは人権教育、啓発活動には取り組んでいませんが、今後、地域研修などの参加に取り組んで行きたい。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各自の立場、経験や習熟度の段階に応じた学びの機会を事業所として計画的に確保している</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの管理者、職員との交流を持ち、今後のサービスの質の向上、問題点の解決に努めています。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>勤務のシフトを作成する時は、できるだけ、スタッフの休みの希望を受け入れるようにしている。(月3回までは希望を優先)業務中においては、必ず、交代で休憩時間を取らせている。</p>	<p>職員との和を大切にするためにも、食事会、忘年会などを企画していききたいと思います。</p>
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>職員それぞれの立場において評価をしている。</p>	<p>開設して、1年3ヶ月であるため、今後、改善するところはして行きたいと思っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>相談があった時は、必ず本人にあって心身の状態や本人の思いに向き合い、職員が本人に受け入れられるような、関係づくりに努めている</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>家族からの相談があれば、いつでも個別に対応できるようにしています。これまでの家族の苦労や今までのサービスの利用状況等これまでの経緯をゆっくり聞くようにしている</p>	<p>場合によっては、自宅訪問の実践も考えます</p>
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時、本人、家族と十分に話し合い、必要な支援を見極める為にも情報を得よう努力しています。そして、サービス利用に努めます。</p>	<p>経済的なことの説明、介護保険の説明、または、身体的な問題等についての相談を受けていきたい。</p>
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前にご本人、家族に見学に来ていただき、ホームでの雰囲気味わってもらう</p>	<p>2,3日の体験入所をして頂き、ご本人が安心して、納得できるようにしていきたい。</p>
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日の生活の中で、体操などのレクリエーションや、3時のおやつタイムの時に職員も交えてみんなでゆっくりと過ごす時間を持っています。支援する側支援される側という意識を持たずお互いに協働しながら和やかな生活ができるように場面や声かけをしている</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	なかなか、ご家族も忙しくしているので、十分なことはできないが利用者の様子や職員の思いをきめ細かく伝える事で本人を支えていくための協力関係が築けることが多くなっている		当ホームでできることは、協力していきたいと思います。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	ご本人、ご家族の悩み、苦しみ、また、うれしい事、楽しいこと等、お互いの気持ちを受け止め、それを伝えていくようにしています。行事に家族を誘ったりしながらより良い関係の継続に努めている		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	ご本人の友人へのお便りや電話をかけ、お話をする機会を設けている。今まで、利用していたスーパー、美容室、公園などを継続して利用できるよう支援しています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	毎日の生活の中で、体操などのレクリエーションや、3時のおやつタイムの時に職員も交えてみんなでゆっくりと過ごす時間を持っています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	一度、入所して家族との話し合いの上、退所された方が、その後も、時々、遊びに来てもらうなど継続的な付き合いが出来るよう心がけています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>できるだけ一人一人の希望や意向を受け止め安心して毎日が過せるように努力しています。</p>	<p>困難な場合は、ご本人、家族と一緒に話し合う機会を持ち、ご本人にとっていい暮らし方を検討していきたい。</p>
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所する時点で、ケアマネージャーや家族等から情報を得るようにしています。また、入所してから、少しずつ、ご本人の会話の中で情報収集に努めます。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入所してから約1か月ぐらひは、ご本人の生活パターンを知るためにも様子観察をします。そして個々に合った日課表を作成し、必要なサービスを提供します。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入所した時点で、計画作成担当者がご本人の情報と現在の状態をアセスメントし、ここでの生活に必要なケアを通じて、安心して暮らせるよう計画を作成します。そして、3か月ごとにケアカンファレンスを担当スタッフを中心に見直していきます。見直した計画は家族にも説明し、意見を伺うようしています。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>対応できない変化が生じた場合には、その都度、見直しします。身体的な変化については主治医に相談し、助言を仰ぎます。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の個別記録(ケース記録)の他、排泄チェック表、健康チェック表、必要な入居者には生活リズム・パターンシートを使いながら、ケアの見直し等を行っています。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族状況に応じて、通院や送迎など必要な支援は柔軟に対応し個々の満足度を高めるよう努力している		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる唄、三味線、踊りなど演奏会を開催しました。また、防災訓練を消防署の職員に来ていただき、消火器の使い方、避難訓練の指導していただきました。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や体調に応じて、訪問理容サービス利用してもらっています。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになりこれをきっかけに関係が強化され、周辺情報や支援にかんする情報交換等、協力してもらっています		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や、ご家族の希望するかかりつけ医となっている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
47	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>今後、入所されている利用者の方たちも老化していきます。終末期のあり方については、ご家族、ご本人と話していきたいと思います。</p>
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をよ良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>職員の資格(観察の力)問題や設備の点からも困難な面があり今後の検討課題と思います</p>
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関する取り扱いに関しては職員全員に指導しています。	入居者一人一人の言葉かけや対応については十分な配慮が必要だということを指導していきたい。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の理解力に合わせた説明をするように努めています。そして、できるだけ、ご本人の思っていることを引き出していくように努めています。例えば、夜間のオムツ交換や、ポータブルの利用など)	
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ、利用者個人の希望を受け入れ、それにそって生活できるようにしているが、常時、見守り介助が必要な場合はご本人、家族に説明し、理解して頂くようにしています。例えば、入浴の曜日、時間、順番など	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々の生活習慣にあわせた支援をしています。朝の着替えは、基本的に本人の意向で決めており職員は、見守りや支援が必要な時に手伝うようにしている	入居者一人一人の言葉かけや対応については十分な配慮が必要だということを指導していきたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の好きな献立を聞きながら、取り入れています。また、毎回の食事の準備のお手伝いとして、エプロンの準備、等をして頂いています。片付けもできられる方には一緒にして頂いています。	
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は、一人ひとりの嗜好物を理解しており本人の様子や時間を見ながら、それらを楽しめるように支援している	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄の状況を知るために観察、記録し、排泄のコントロールができない利用者については、定期的にトイレ誘導をします。また、排便についてもチェックし、何日も排便がない場合は主治医に相談し、スムーズに排便がみられるようになります。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、毎日の入浴にしていますが、どうしても利用者の身体状況により曜日、時間を決めて入浴をしています。ご自分で入浴ができるかたについては、自由にしています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	できるだけ、ご本人の希望にそって自由に休息できるよう支援していますが、利用者の中には昼夜逆転の利用者もおり就寝に向けてリズムが安定するよう工夫している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人一人の生きがい、楽しみ等をご本人、ご家族からの情報をもとに、個々に合わせた楽しみ方を提供します。 (針子などの縫い物、工作、散歩、買い物などの外出、日常生活のお手伝い)		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当ホームでは、できるだけ、お金は持たせないようにご家族、利用者に説明し、理解をして頂いています。家族のいない方や、家族が遠方において来られない方については、こちらで預かり、買い物等の時必要な分をお渡ししています。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	時々、ホームの周辺散歩を歩をしています。利用者全員とはいませんが、できるだけ、車イスのかたも一緒に行くようにしています。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	本人が行きたいと思う遠くの場所への外出については、場合によっては、家族の協力をお願いしています。		季節のいい時期に出かける機会をたくさん計画していきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状、暑中見舞いを出す為に支援しています(ホームで写した写真)を取り込んで家族に出します		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	一応、面会時間を設けてはいるが、いつでも訪問できるようにしています。また、職員にとっても大切な訪問者なので、笑顔で対応し、お茶の提供をしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、身体拘束をしないケアを実施しています。		管理者、職員全員が身体拘束の具体的な行為について理解できる勉強会をしていきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在、玄関、居室に鍵をかけずにケアに取り組んでいます。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の安全に注意しています。		身体的に自立されている利用者には、自由にして過されています。常に危険な箇所がないか、注意し、改善していきたいです。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ、針等の注意の必要な物品に対してはホームの方で管理し、利用者の状態に応じて使用できるようにします。この場合、必ず職員の見守りなかで使用してもらいます。調理器具の包丁はきちんと保管し、職員間で徹底しています。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現在、転倒の危険性のある利用者、誤飲の危険性のある利用者には、ケアカンファレンスで検討し、個々に応じたケアを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や転倒などの事故発生時の応急処置の勉強会を行いました。		事故対策のマニュアルを作成し、全職員に指導する機会を定期的に持つようしていきたい。 最善の処置、医療との連携 責任者への報告 利用者家族への説明 事故記録の報告を徹底していきたい
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回利用者とともに、非難訓練を行っています		地域の人々の協力を得られるように、自治会長、民生委員さんを通じて日頃から交流を持つよう努めたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒の危険性のある利用者の家族には、普段の様子等を説明し、転倒防止の為に必要なことは協力して頂くように御願しています。夜間は、特に見守りの強化で転倒しないよう注意をしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康管理のためにバイタルチェックをしています。その日の日勤者が利用者全員の状態を把握します。体調の変化などの報告は管理者もしくは看護師に行い、その都度、対応しますが、状態によっては主治医に報告し、診察して頂きます。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、有資格者(看護師)が把握し、管理をします。各利用者の薬剤情報ファイルを置き、いつでもスタッフが確認できるようにしています。薬の変更や追加があった場合は申し送り簿に記載し、必ず、申し送りをします。また、服薬確認チェックシートを常備し、その都度確認します。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	高齢者の慢性便秘症は多く見られ、現在、排泄のコントロールができない入居者には主治医と相談の上、内服薬で対応しています。利用者によっては、ヤクルト、ヨーグルトを食べたりしています。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施しています。また、義歯は定期的に義歯専用の洗浄液に浸し、清潔に保つようになっています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量のチェックをし、個々の状態を把握しています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手指の消毒に玄関入り口にウェルマッチを設置し、職員、利用者、面会者で使用しています。また、トイレの便座、手すりはハイタ を使って拭いています。浴室はアルコールで噴射し、消毒をしています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の賞味期限の確認をし、定期的に冷蔵庫内の掃除を徹底しています。また、食器、調理器具の衛生には十分な注意をしています。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている			近隣の方たちが、気軽に立ち寄れる空間を作ってきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや和室から庭の木や植物が楽しめるようにソファの位置を工夫しています。食事の時には音楽をかけるようにしています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファにはそれぞれの場所があり、自由に過ごすことができるようにしています。また、日当たりの良い方向に座ってもらっています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや椅子以外にもそれぞれの利用者の好みや馴染みの物等生活スタイルに合わせて、用意し居心地の良さに配慮しています		
86	換気、空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	フロアは、食事のあとや一定の時間に換気している利用者の発汗の様子や冷えなどに注意し調節するようにしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、手すりの設置、車イス対応のトイレを用意しています。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	洗濯物を干したりたたんだり にしています。職員一同で話しあい、本人の不安材料を取り除き、力をどり先どせるように試みている		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	玄関先にベンチを置いて利用者が日向ぼっこ出来るような工夫をしています		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人一人に合った介護受容の姿勢は、維持していきたいと思っています
当ホームは、敷地が広く、野菜、果実づくりを職員とともに今後も頑張っていきます